



時の扉の、その先へ

歴史学科 学科ガイド 2024



東北学院大学
文学部
歴史学科ガイドブック2024

2023年4月発行

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 東北学院大学

歴史学科で学び、過去と未来をつなごう！

学科長からのメッセージ

『歴史学科ガイド2024』を手にとってくださった皆さん、ありがとうございます。この冊子には、私たちスタッフが考える東北学院大学歴史学科の特色・魅力が詰め込まれています。皆さんの将来を考える手がかりの一つになれば、とても嬉しいです。

大学における教育は、いま大きな岐路にさしかかっています。コロナ禍が後押しをする形で、インターネット環境を活用した学修システムの導入が急速に進み、新しい学びのあり方が模索されてきました。しかしその一方で、教室での対面型授業、実技やフィールドワークの実習授業といったリアルな体験を伴う授業の重要性があらためて認識されてもいます。歴史学科ではこれまでも、少人数の演習科目すなわち「ゼミ」や、実習科目を提供してきました。この冊子にも、考古学実習での古墳発掘調査や民俗学実習での聞き取り調査、中世城館の現地踏査や各ゼミの見学旅行など、学生たちの「現場体験」の声をたくさん載せています。是非ご覧ください。2023年度からは新たに1年生向けの「入門演習」も開講し、4年間を通じて演習科目をおこなう体制を整えました。学生一人一人が、同級生や教員との繋がりの中で学びを重ねて欲しいと思っています。

皆さんの中には、「密である」はずの中学・高校生活が思うように過ごせなかったり、将来の夢や展望に戸惑ったりと、悩みや不自由さを感じながら過ごされてきた方も少なくないと思います。何をめざし、何を支えにしたら良いのか。皆さんの将来にとって、それはとても大切な問題です。7～11ページに紹介しているように、歴史学科で学んだ先輩たちの進路は実に多様であり、皆さんの前にも様々な道が開かれているといえます。歴史学科での学びは、決して歴史的な知識を身に付けることだけではありません。むしろ重要なのは、過去の人びとが残した歴史的情報の意味を私たちなりの視点で考え直し、新たな見方や考え方に気付くこと、そのための方法を学ぶことです。それは皆さんが、混沌とした現代を生き抜き未来を展望する上でもきっと力になるはずです。

皆さんと東北学院大学のキャンパスで出会い、そのお手伝いをするのが、私たち歴史学科スタッフの願いです。

2023年4月

歴史学科長 **七海 雅人**

目次	2	フィールドとつながる
	6	歴史学科を体験しよう
	7	専門職へつなげる
	11	仕事へつなげる
	12	博物館で学び、博物館をつくる！
	13	歴史とつながる(専門分野と教員紹介)
		日本史／アジア史／ヨーロッパ史／考古学／民俗学
	21	歴史学科の学びのみちすじ

フィールドとつながる

歴史を学ぶというと、ずっとイスに座っているイメージがありませんか？

歴史学科は、フィールドとつながるアクティブな学びを大切にしています。考古学・民俗学の「実習」、日本史・ヨーロッパ史・アジア史の「講読」などは、現地調査を重視します。また「演習」では旅行や合宿を実施します。現地で見聞きしたことを通じて、歴史や社会をみる「眼」を鍛えていきます。

考古学実習

みえる、わかる、 文字なき時代の営み 遺跡の発掘調査

考古学ゼミ(辻教授) **小嶋 健斗**

考古学ゼミでは、演習での文献調査と実習によって考古学の知識と経験を重ねます。長期休暇には、合宿形式で発掘調査を行っています。2022年から福島県喜多市に所在する藤権現遺跡で発掘を進めており、2022年度は夏と秋に行いました。

約3週間の発掘調査で学べることは、多岐にわたります。発掘現場では、自分がする作業の意味を考えたり、明らかになったことから営まれた当時の姿を考えたりすることで、多くの考古学的な知識や経験を得ることができます。また、合宿生活は料理や洗濯、掃除などを全員で協力して行います。そのため、ともに生活する同級生や先輩、後輩と様々な経験をし、協調性やコミュニケーション能力といったスキルを身につけることができます。

発掘実習は、何もかもが新鮮で、実に多くのことを学ぶことができる貴重な機会です。考古学や発掘に少しでも興味のある方は、2年次開講の考古学実習Iにて、1週間から発掘調査に参加することができますので、ぜひ参加してみてください。



藤権現遺跡

日本史／近世史ゼミ

自然と人との 暮らしのつながりを考える

仙台市宮城野区新浜地区での調査活動



日本近世史ゼミ(菊池教授) **阿部 みこと**

日本近世史を学ぶ菊池ゼミでは、江戸時代の人々の暮らしを知るために、幕府や藩の法令、大学所蔵の「細谷家文書」を分析したり、関連する論文などを読んでいます。また、2016年度から「新浜の歴史を掘り起こす」というテーマで、仙台市宮城野区新浜地区での歴史調査を継続しています。2022年度は新たな取り組みとして、「契約講」(地縁的互助的な共同組織)の史料分析とこれに関する聞き取り調査を行いました。その成果を12月に「新浜の自然と歴史の学習会」で報告しました。

町内会の方々との交流はとても楽しく、ご自宅に伺って、年1～2回開催される契約講での宴会の様子や講員の絆に関して、史料からだけでは分からない貴重なお話を伺うことができました。史料での知識を経験として深めることができ、私自身も成長できたと思える得難い経験でした。

真実はいつも 1つじゃない

迷宮のサラエヴォ事件 ～生徒の交錯する思考

ヨーロッパ近代史ゼミ(杵淵准教授) 千田 有彩

私たちのヨーロッパ近代史ゼミでは第一次世界大戦の発生要因を調べています。内容の主題は、第一次世界大戦が発生する直前、開戦の中心となった国々の首脳等は、サラエヴォ事件をどのように認識していたのか、そしてどのような行動をしたために大戦が発生してしまったのかについてです。これらを複数の史料に基づき、少人数のグループに分かれて話し合っていますが、事件当時の反応や解釈が人々の立場によって全く異なっていたことが分かってきました。

他にもスポーツ大会などの開催、合宿を行うなど授業以外の交流も活発に行っています。そのためゼミ生と関わる機会が多く、充実したゼミを送ることが出来ています。また就活の面でもサポートをしっかり行ってくれるため、早くから行動が出来ます。



永勸染工場(仙台市若林区南染師町)

民俗学実習

教室の中でも外でも 発見あり

仙台旧城下町の民俗調査

民俗学ゼミ(政岡教授) 窪田 海人

2021・22年度の民俗学実習では仙台旧城下町の調査を行いました。本講義では『仙台市史』などの文献の内容を整理しながら、その中で得られたデータを基にして実際に現地を見て歩き、機会があれば地域の方からお話を伺う聞き書き調査を行い、報告書としてまとめています。

聞き書き調査では、どんな分厚い文献にも書いていないことが分かったり、時にはお話をしてくださる方から貴重な史料を見せて頂いたりすることもあります。また、聞き書き調査の後で再度文献を読み直すと、最初は気づかなかったことが次々と見えてきます。このように教室の中でも外でも様々な発見があるのが本講義の面白さだと思います。

皆さんも民俗学実習を通じて、民俗学の魅力に触れてみませんか？



秋葉神社(仙台市若林区河原町)



ピビハニム・モスク



チョールスー市場

アジアの熱気を 体感する

アジア史ゼミ(小沼教授) 石山 実弥

アジア近世・近代史について学ぶ小沼ゼミでは、現地に赴いてその土地の文化や環境を体感する活動として、毎年希望者を募って台湾を訪問し、2020年度にはウズベキスタン訪問も計画されていました。ただ、私が小沼ゼミに所属した2020～21年度は、コロナ禍の影響で、渡航できませんでした。

その後、私は筑波大学大学院に進学し、2022年11月に小沼先生の調査に同行し、念願のウズベキスタン訪問を果たしました。間近で見る史跡や建築群はやはり迫力が違いますし、現地の人々と交流したり、地元料理を口にしたりと、一般の人々のありふれた日常に接することもできました。

実際に現地を訪れてみると、自分が本や授業を通じて得ていた中央アジアの知識やイメージとは異なることも多く、いい意味でカルチャー・ショックを受けました。今後はさらに状況が改善し、いろいろな歴史の舞台を訪れることができるようになると思います。ぜひ“体感する歴史学”を体験してみてください。

民俗学実習

まじな よみがえる呪い 史料とフィールドワークで紐解く民俗

民俗学ゼミ(金子准教授) 小賀坂 彩恵

金子ゼミでは福島県の助成金に採択され、双葉郡川内村で調査実習を行なっています。川内村は福島県の浜通りに位置し、東日本大震災の被害を受けながらも復興に向かって進んでいる村です。実習では川内村の地蔵院というお寺の呪術に関する古文書調査と村内の石塔調査をしました。

古文書調査では修験の儀式が書かれた古文書やお札を一つ一つ丁寧にクリーニングし、分類しました。石塔調査では実際に川内村へ行き、村内を巡って石塔の数と場所を記録しました。石塔は震災後の除染作業で撤去されるなど数に変化があるため、記録する事は現川内村の状況を知る重要な作業だと思います。

古文書や石塔の調査に加えて、住民の方々への聞き取り調査も行ないました。現在ではほとんど祀られなくなった石塔やお堂に案内していただき、思わぬ発見となりました。現地の方々との交流にある発見もフィールドワークの魅力です。みなさんも一緒に体験してみませんか？

過去の実習の様子はコチラ
<https://youtu.be/-zSB6Wpge70>



クリーニング&資料カード作成



地蔵院旧蔵文書



石塔調査

日本史／古代史ゼミ

五感を使った、 古代史探偵!

史料を読み解き、現場を歩く

日本古代史ゼミ(永田教授) 飛田 旺慈

永田ゼミでは、教室の中で激動の奈良時代を記した続日本紀などの歴史資料と格闘するとともに、教室の外に出て様々な場所に赴き、五感をフルに使って、宮城・東北そして日本の古代史について理解を深めます。私たちの場合も、夏休み明けに出かけた石巻から南三陸への合宿旅行で、桃生城跡や、和泉沢古墳群など蝦夷の墓とされる古墳を、草をかき分けながら歩きまわりました。

天平の天然痘大流行、目まぐるしく移り変わる東アジア。蘇我家や藤原家は本当に悪者だったのか…。蝦夷はなぜ蜂起したのか…。歴史資料と現地体験を手がかりに、印象の知識から事実という歴史を見つける探偵になって、日本古代史に正面から、側面から、あらゆる面からぶつかってみませんか?



草むらの中で古墳を探す(石巻市 和泉沢古墳群)



桃生城跡(石巻市)を歩く

日本史／中近世史ゼミ

いつも見ている風景の中に 地域史研究を楽しむ

日本中近世史ゼミ(竹井教授) 築田 大地



谷本館跡縄張図(下図)

東松島市矢本での
板碑調査



縄張図の作成風景

竹井ゼミでは、宮城県東松島市地域の中世史・近世史の研究や、中世城郭の構造を図化した縄張図を作成する調査・研究を行なっています。伊達政宗の書状や江戸時代の地誌『安永風土記』などの古文書を読んでいます。さらに実際に現地に行き、自分の目で確認するフィールドワークも大切な作業です。今年度は、戦国時代の領主であった長江氏の一族谷本氏が支配した矢本村周辺を調査しました。現在山林となっている居城の谷本館跡を踏査して縄張図を作成し、寺社や地名を調べて当時の城下の空間構造を復元して図化しました。

実際に足を運ぶと文字だけでは味わえない興奮が味わえます。一緒に足を運んでみませんか。



歴史学科を体験しよう!

歴史学科では、日本史・アジア史・ヨーロッパ史・考古学・民俗学の5つもの分野を専門的に学ぶことができます。きっとあなたの好奇心をくすぐる出会いが待っているはず! 実際の授業の様子を、少しのぞいてみましょう。

お城を調査 研究する!!

日本中・近世史



科目名: 歴史の中の東北

対象学年: 2年生向け

担当: 竹井英文教授

時間: 2:42

<https://youtu.be/byDwl3pos5o>



ポツダム宣言を 読み解く!

日本近代史



科目名: 歴史学

対象学年: 3年生向け

担当: 河西晃祐教授

時間: 5:43

<https://youtu.be/gsjVxJuUgc0>



民俗学って 何だろう?!

民俗学



科目名: 民俗学概説

対象学年: 1年生向け

担当: 金子祥之准教授

時間: 5:15

<https://youtu.be/zlaq1ifomdU>



考古学ゼミでの 専門的な学び

考古学



科目名: 考古学ゼミ

対象学年: 3・4年生

担当: 辻秀人教授

時間: 3:18

<https://youtu.be/pOJCvxja7qY>



西洋史ゼミでの 専門的な学び

西洋史



科目名: 西洋史ゼミ

対象学年: 3・4年生

担当: 杵淵文夫准教授

時間: 2:50

https://youtu.be/6c5_knk0fGU



読んで体験!

歴史学科の授業ってどんな感じ? 東北の歴史に興味があるんだけど何を読めば…。そんな人にオススメなのが、私たち歴史学科で作成した『大学で学ぶ 東北の歴史』(吉川弘文館、2020年)です。きっと東北の歴史の面白さ、奥深さ、さらには高校までの「歴史」とは違う大学の「歴史学」を感じ取ってもらえることでしょう。ぜひ一度ご覧下さい。



専門職へつなげる

博物館学芸員

学芸員になるなら東北学院大学へ!!

博物館を担う専門職員、学芸員。学芸員資格を取得しても、実際に学芸員になるのは、難しいと言われています。しかし、歴史学科の卒業生は、毎年のように複数名が学芸員・文化財専門職員として飛び立っていきます。その実績は、東北随一と言えます。

歴史学科は、多様な歴史研究のエキスパートがそろった環境にあります[『歴史とつながる(p.13-20)』]。しかも、学内には東北学院大学博物館が設置されています[『博物館で学び、博物館をつくる!(p.12)』]。わかりやすい展示とは?資料を劣化させることなく展示するには?そうした実践的な試行錯誤に取り組む場まで用意されているのです。

Message 先輩からのメッセージ



黒田 篤史さん

遠野市教育委員会文化課 主任兼学芸員

遠野市で文化財保護を担当しています。市内にある国内で最も古い遺跡の一つ金取遺跡の調査研究、重要文化財になっている歴史的建造物の修理事業、文化財を活かした地域づくりのサポートなどさまざまな業務を行なっています。

大学・大学院では日本考古学を専攻し、発掘調査と論文作成に明け暮れていました。発掘調査では、専門的な技術のほか、段取りとチームワークの重要性を学び、論文作成では、古墳時代の土器の観察を通して、モノの本質を見極めることの大切さを学びました。学生時代の学びは、どんな仕事をする上でも土台となっており、今に繋がっています。



佐藤 麻南さん

石巻市博物館 学芸員(主事)

私は石巻市博物館で学芸員をしています。当館は令和3年11月に新しく開館した博物館です。今は館の運営や企画展の準備、資料整理、資料の展示・収蔵環境の構築などを行っています。開館して日も浅く、まだまだ不十分なところもあるため日々奮闘しています。

学生時代は民俗学ゼミに所属し、東日本大震災で被災した民俗資料のクリーニングや燻蒸、脱塩、移動博物館などの活動を行ってきました。学生時代のフィールドワークの経験や人とのつながりが今の博物館での仕事に生きています。



横山 舞さん

東北学院大学大学院文学研究科 アジア文化史専攻

私は歴史学科を卒業し、在籍中に学芸員資格を取得しました。学芸員課程では、〈知識〉としての座学と、〈経験〉としての実践の両方をバランス良く学ぶことができました。

現在は、東北学院大学大学院文学研究科(アジア文化史専攻)で、考古学分野の研究を進めています。また東北学院大学博物館で、学芸員として勤務しています。博物館では展示を企画・実施し、来館者の方々への解説も行ないます。学芸員課程で学んだ〈知識〉が、こうした実践を通じて〈経験〉となっています。

歴史学科出身者の働く、博物館・文化財関係機関

- 北海道** 小平町教育委員会、深川市教育委員会、札幌市埋蔵文化財センター、北海道埋蔵文化財センター
- 青森県** 八戸市教育委員会、八戸市立是川縄文館、八戸市博物館、階上町教育委員会、三戸町教育委員会
- 岩手県** 一関市教育委員会、岩手県埋蔵文化財センター、盛岡市立もりおか歴史文化館、奥州市教育委員会、奥州市文化財センター
盛岡市遺跡の学び館、山田町教育委員会、陸前高田市教育委員会、遠野市教育委員会、御所野縄文博物館
紫波町教育委員会、北上市教育委員会、二戸市教育委員会
- 秋田県** 大仙市教育委員会、秋田県埋蔵文化財センター、秋田県生涯学習課文化財保護室
- 山形県** 山形県教育委員会、山形県埋蔵文化財センター、山形県立博物館、鶴岡市教育委員会
米沢市教育委員会、致道博物館、西沼田遺跡公園ガイダンス施設
- 宮城県** 東北歴史博物館、仙台市教育委員会、名取市教育委員会、多賀城市教育委員会、大崎市教育委員会、栗原市教育委員会
登米市教育委員会、白石市教育委員会、東松島市教育委員会、気仙沼市教育委員会、利府町教育委員会、丸森町教育委員会
涌谷町教育委員会、蔵王町教育委員会、色麻町教育委員会、仙台市博物館、加美町教育委員会、名取市教育委員会
地底の森ミュージアム、亘理町立郷土資料館、多賀城市埋蔵文化財センター、宮城県慶長遣欧使節船ミュージアム
瑞鳳殿資料館、鹽竈神社博物館、東北学院史資料センター、石巻市博物館、宮城県公文書館、しばたの郷土館
- 福島県** 福島県文化振興事業団遺跡調査部、福島県文化センター白河館(まほろん)、福島県立博物館、白河市教育委員会
二本松市教育委員会、郡山市文化学び振興公社文化財調査センター、南相馬市教育委員会、南相馬市博物館
喜多方市教育委員会、新地町教育委員会、富岡町歴史民俗資料館、西白河郡西郷村教育委員会、いわき市考古資料館
いわき市教育文化事業団
- 新潟県** 新潟市歴史博物館、新潟市新津鉄道資料館、新潟市教育委員会、刈羽村教育委員会、上越市教育委員会、魚沼市教育委員会
- その他** 鳥山市教育委員会(栃木)、伊勢崎市教育委員会(群馬)、茨木市教育委員会(大阪)
静岡県埋蔵文化財センター、山梨市教育委員会

博物館学芸員課程に関する科目

1年次	2年次	3年次	4年次
博物館概論 博物館教育論	生涯学習概論I・II 博物館経営論 博物館資料論	博物館資料保存論 博物館展示論 博物館情報・メディア論	博物館実習I(学内実習) 博物館実習II(見学実習) 博物館実習III(館内実習)

小・中・高等学校教員

先生になる夢を叶えよう!!

歴史学科では3種類の教員免許状を取得することが可能です。小学校教諭一種・中学校一種(社会)・高等学校一種(地理歴史)です。ただし、免許状を取得するためには、教職にかかわる59単位の修得が必要で、計画的に履修していかなくてはなりません。また小学校教諭に関しては、聖徳大学通信教育部人文学部の通信課程を受講・修了する必要があります。

道のは平坦ではありませんが、本学には教職課程センターという専門機関があり、さまざまな面からみなさんをサポートする体制が整っています。実際に、多くの先輩たちが夢を叶え、先生として活躍しています。

Message 先輩からのメッセージ



高橋 陽介さん

大崎市立松山中学校教諭

私は現在、宮城県内の中学校に社会科教員として勤務しており、授業や部活動などの諸活動を通して生徒たちの成長が感じられることに、教員としてのやりがいを感じています。大学では、自分の好きな科目である日本史を様々な視点から考察し、深く学ぶことができました。生徒たちにも多様な視点から考察し、考えたことを表現してもらう活動を軸に社会科の授業を展開しています。大学で学んだことを活かし、生徒たちに還元できるような日々授業づくりに励んでいます。コロナ禍の大変な時ではありますが、出会った仲間と充実した4年間をお過ごしください。



柴田 義大さん

仙台市立高森中学校教諭

在学中は、一次資料をもとに考察を行なうなかで「なぜ?」という疑問を大切にしてきました。疑問について繰り返し探求し、学び続けた経験が、自己研鑽に励む糧となっています。またアジア史を専攻したことで学んだ「世界の中の日本」という視点は、グループ学習を中心とした授業づくりに活かしています。大学では、ぜひさまざまなことに挑戦し、コミュニティの輪を広げ、多くの人とのお会いを大切にしてください。4年間で得たものは、きっと秋の稲穂のように大きな実を結ぶことでしょう。

教職等に関する科目			
1年次	2年次	3年次	4年次
現代教職論 教育基礎論 教育の制度と経営	教育心理学 教育課程論 道徳教育の理論と方法 教育の方法と技術 教育相談の理論と方法 生徒指導・進路指導の理論と方法 社会・地理歴史科教育法(概論・理論) 社会・公民科教育法(概論・理論)	社会・地理歴史科教育法(実践) 社会・地理歴史科教育法(応用) 社会・公民科教育法(実践) 社会・公民科教育法(応用) 社会科教育法(発展) 特別支援教育論 特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法 介護体験実習	教育実習I 教育実習II 教職実践演習(中・高)

図書館司書・学校図書館司書教諭

本に親しみ、魅力を伝える!!

読書の世界へのいざない役に

図書館情報学 佐藤 義則 教授

本に親しんだ本学の卒業生は、図書館でも大活躍!

歴史学科では、図書館司書資格と学校図書館司書教諭資格を取得する課程を持っています。図書館は、博物館・公民館などと並んで、社会教育施設のなかで大きな役割を占めているだけでなく、学校教育とも密接に関連しており、教育文化の重要な場となっています。司書の専門的業務は、図書館活動に必要な図書館資料を選択収集し、これを分類作業・目録作業などの専門技術によっていつでも利用できる状態に整理保存し、さらに人々の要求に応じて所蔵資料の十分な活用を図ることです。市民学習の支援や本の楽しさを伝えるだけでなく、さまざまな情報をアーカイブするといった役割も図書館には期待されており、図書館司書の活躍の場は今後もさらに広がっていきます。また、学校図書館司書教諭資格は、小学校・中学校・高等学校に設けられた図書館ではたらく司書教諭で、図書館資料の授業での活用や読書活動を推進するやりがいのある仕事です。

◆国立国会図書館科学技術資料整備審議会委員/宮城県図書館協議会会長/国公私立大学図書館協力委員会大学図書館著作権検討委員会顧問



Message 先輩からのメッセージ



矢吹 亜依さん

ナカバヤシ株式会社 板橋区立氷川図書館業務責任者

区立図書館で、私はレファレンス業務の取りまとめと、学校連携事業の対応を担当しています。レファレンス業務では利用者がどのような資料を探しているののかの聞き取り、必要な資料のピックアップを行ないます。学校連携では、近隣の小中学校への図書館を利用した学びの場を提供と、読書活動推進のための活動を行なっています。大学で経験してよかったと感じるのは、授業やゼミでの論文やレポート作成時の経験です。歴史学科での緻密な論文や図書資料のデータベース検索の経験は、レファレンス業務で役立っています。

社会教育主事

地域と学校をつなぐ!!

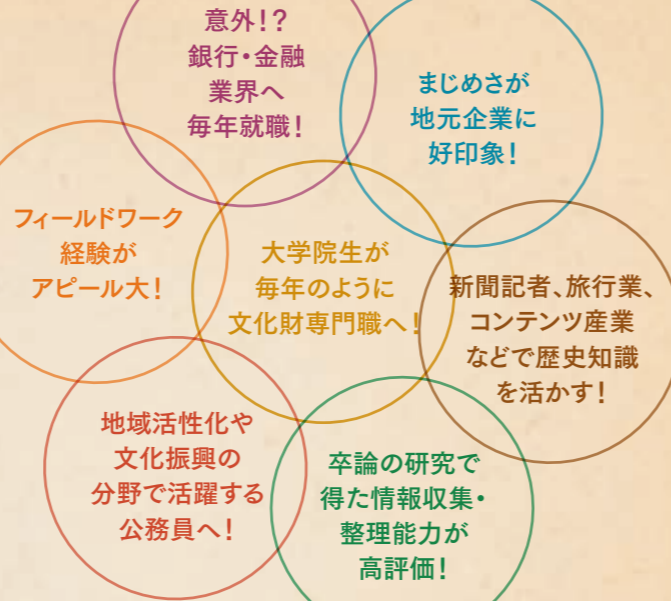
社会教育主事とは、教育委員会に所属し、社会教育活動に関する指導と助言を行なう専門職です。学校や博物館を通じた地域の教育を担うコーディネータとして、重要な役割を期待される仕事です。歴史学科の社会教育主事養成課程を修めると、「社会教育士」の称号を名乗り、社会教育主事となる資格を得ることができます。

1年次	2年次	3年次	4年次	
司書に関する科目 / 司書教諭に関する科目 ^(※)				
	図書館概論	図書館情報技術論 図書館サービス概論 情報資源組織論 学校経営と学校図書館 [※] 学習指導と学校図書館 [※] 学校図書館とメディアの構成 [※]	図書・図書館史 図書館情報資源概論 読書と豊かな人間性 [※] 情報メディアの活用 [※]	図書館制度・経営論 情報サービス論 情報サービス演習A・B 情報資源組織演習 図書館情報資源特論 図書館施設論
社会教育主事に関する科目				
市民活動論	ボランティア活動 スポーツ指導論 地域構想論 地域スポーツ論	スポーツマネジメント 社会教育実習I・II 現代社会と社会教育 地域教育論 地域社会論	社会教育課題研究 教育調査実習A・B 市民性育成の教育論 地域文化論 生涯学習支援論	社会教育経営論

仕事へつなげる

歴史学科の 就職

2022年春
就職率 **91.3%**



歴史学科は就職に弱い?いえいえ、そんなことはありません。卒業生たちは、毎年、じつにさまざまな業種、さまざまな職場へと、羽ばたいています。東北学院大学には、就職キャリア支援部があり、就職活動のガイダンスやセミナー、個別相談など手厚いサポートが受けられます。

フィールドワークをはじめアクティブな学びで鍛えた行動力、卒業論文を通して身につけた情報収集や整理能力をアピールし、多くの卒業生が社会で活躍しています。(最新情報は、<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/career/data/>へ!)

過去3年間の主な就職例(2020~2022年春)

国家公務員 国家公務員(一般職) 国税専門官 自衛隊幹部候補生(一般・陸上) 自衛隊幹部候補生(一般・航空)	建設業 旭化成ホームズ(株) セキスイハイム東北(株) 大成建設(株) (株)TTK 東建コーポレーション(株) (株)ドコモCS東北 日本住宅(株)	小売業 青山商事(株) イオンリテール(株) (株)カワチ薬品 サントリービバレッジサービス(株) JR東日本東北総合サービス(株) (株)セブンイレブン・ジャパン (株)ダイユーエイト (株)ツルハ ネットヨタ仙台(株) (株)東京インテリア家具 (株)東北マツダ (株)藤崎 (株)富士薬品 みやぎ生活協同組合 宮城トヨタ自動車(株) (株)薬王堂 ヤマザワ (株)やまや (株)ヨークベニマル	金融・証券・保険 (株)青森銀行 (株)イオン銀行 (株)岩手銀行 (株)北日本銀行 (株)七十七銀行 (株)荘内銀行 (株)商工組合中央金庫 全国農業協同組合連合会 (株)仙台銀行 (株)大東銀行 (株)東邦銀行 東北労働金庫 日新火災海上保険(株) 日本銀行 日本生命保険相互会社 (株)福島銀行 (株)みちのく銀行 明治安田生命保険相互会社 社の都信用金庫 (株)山形銀行
地方公務員(県) 宮城県 福島県 北海道 宮城県(警察官) 秋田県(警察官) 岩手県(警察官) 山形県(警察官)	製造業 アイリスオーヤマ(株) (株)東匠三全 キョクシア岩手(株) (株)コーセー タカラスタンダード(株) 東北エプソン(株) 東洋刃物(株) 福助工業(株)	サービス業 (株)アサンテ (株)アウトソーシングテクノロジー (株)KDDIエボルバ サイバーコム(株) セコムジャスティック(株) (株)DTS (株)ToiNX (株)テクノプロ・エンジニアリング 東京コンピュータサービス(株) (一社)東北経済連合会 東北緑化環境保全(株) (株)ニチイ学館 (一社)日本自動車連盟 日本年金機構 ルートインジャパン(株)	不動産業 積水ハウス不動産東北(株) 日本ハウズイング(株) 三井不動産商業マネジメント(株)
地方公務員(市町村) 【宮城県】仙台市・石巻市・登米市・角田市 【青森県】青森市 【秋田県】にかほ市・仙北市 【岩手県】盛岡市 【福島県】福島市・伊達市・南相馬市 【北海道】七飯町	運輸・通信業 日本貨物鉄道(株) 日本郵便(株) (株)ネクスコ・メンテナンス東北 東日本旅客鉄道(株) 北海道旅客鉄道(株) 名鉄観光サービス(株)	不動産業 (株)アサンテ (株)アウトソーシングテクノロジー (株)KDDIエボルバ サイバーコム(株) セコムジャスティック(株) (株)DTS (株)ToiNX (株)テクノプロ・エンジニアリング 東京コンピュータサービス(株) (一社)東北経済連合会 東北緑化環境保全(株) (株)ニチイ学館 (一社)日本自動車連盟 日本年金機構 ルートインジャパン(株)	医療・福祉 日本赤十字社 (一社)仙台市医師会 (一財)温知会 (医)杏林会 (医)将道会 (医)清山会 (社福)東京聖労会 SONNPOケア(株) ベネッセスタイルケア
教員・学校 【宮城県】小学校・中学・高校・高校(私立)・支援学校 【秋田県】高校 【岩手県】中学 【山形県】中学・高校(私立) 【福島県】高校	卸売業 キヤノンシステムアンドサポート(株) (株)高速 東北アルフレッサ(株) トヨタL&F宮城(株) パナソニックコンシューマーマーケティング(株) 東日本フード(株) プリチスタンタイヤジャパン(株) ホンザキ東北(株) (株)南東北クボタ (株)ヨコハマタイヤジャパン	大学 国立大学法人宮城教育大学 公立大学法人宮城大学	進学 東北学院大学大学院 筑波大学大学院

ほか多数

博物館で学び、博物館をつくる!



東北学院大学に「博物館」があることをご存じですか!?ふだんは誰でも入館することができます。

歴史学科では、学芸員資格課程の学びの場としてはもちろんのこと、ゼミなど普段の学びのなかでも博物館を活用しています。館内には、古文書や遺跡の出土資料、地域の民俗資料など、学生たちの学びの成果をまとめた展示がずらりと並んでいます。

これらの展示はすべて、ゼミや実習の授業を学ぶ学生たちと、大学院生たちとでつくりあげたものです。さらには博物館内外でのさまざまなイベントを実行したり、インターネットなどを利用して文化財の情報を社会に発信したりと、東北学院大学博物館はまさに「学生が作り上げていく博物館」なのです。

どうです?東北学院大学歴史学科で、「学芸員のしごと」を体験しながら、歴史学科で学んだ歴史や文化の情報を世の中に発信してみませんか?

一緒に学ぼう!

博物館のシンボル展示
平安時代の墨書人面土器
(多賀城市市川橋遺跡)

博物館ホームページ <https://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/tgum/>

ツイッターアカウント @tgu_museum



学芸研究員のつぶやき



もうちょい右!(企画展の準備)



うまくかけられる?(博物館実習)



収蔵庫の資料を整理(博物館実習)



これなんだ~?(民具資料を調査)

歴史とつながる

歴史学科では、幅広い歴史研究にふれることができます。

日本史・アジア史・ヨーロッパ史・考古学・民俗学、

あなたが学びたい歴史とは、

いったいどの分野でしょうか？

日本史

地域の歴史と文化から考える「武者の世」

日本中世史 七海 雅人 教授



日本史の大きな特色に、鎌倉幕府・室町幕府・江戸幕府と続いた武家政権(武士の政治)の存在があります。教科書には武家政権の誕生として、源頼朝による鎌倉幕府の樹立が描かれていますが、近年、平清盛の政治こそが武家政権の始まりととらえる考え方が深まってきました。それを「六波羅幕府」と表現する研究者もいます。さらには、東北地方の平泉に君臨した藤原氏についても、武士の政治のあり方の一つとして理解する研究が進められています。日本列島の多様な地域の歴史と文化のなかには、日本史の“常識”を書きかえるようなヒントがちらりめられているのです。



平泉藤原氏の政庁跡と考えられる「柳之御所遺跡」に復元された池(岩手県平泉町)

【主な著書】『相馬市史 第1巻通史編1』福島県相馬市、2023年(共著)

◆宮城県文化財保護審議会委員(松島部会)／仙台市文化財保護審議会副会長／東松島市文化財保護審議会副会長

城郭研究のフロンティア 東北

日本中世・近世史 竹井 英文 教授



戦国時代を象徴する遺跡が、各地に残る城跡です。宮城県内だけでも1000ヶ所以上あるといわれています。近年、日本の各地で調査研究が大きく進み、従来の歴史像を塗り替えています。東北ではその研究は遅れていると言わざるを得ません。しかし、裏を返せば、城郭研究は東北の歴史の新たな1ページを生み出す可能性を大いに秘めているともいえるのです。まさに、東北は城郭研究の残されたフロンティアなのです。



前川本城の横堀(宮城県川崎町)

【主な著書】『戦国の城の一生』吉川弘文館、2018年

『列島の戦国史7 東日本の統合と織豊政権』吉川弘文館、2020年

◆伊豆の国市史跡等整備調査委員会専門委員／笠間城跡指導委員会委員／北上市史編さん委員会古代中世史部会委員

どう見る? 古代の「東北」

日本古代史 永田 英明 教授



かつては朝廷の編さんした歴史書によって「征夷の歴史」として語られた東北地方の古代史は、戦後一転して東北の主体性や先進性・独自性を強調し語られるようになりました。実際はどうだったのでしょうか?そもそも「東北」というまとまりで地域の古代史を考える意味はどこにあるのでしょうか?研究が進むにつれ、近年では「東北」内外の多様な地域、多様な人々の交流やぶつかり合いに注目して「東北」の古代史を捉え直す動きが進んでいます。多様な人々、地域間交通・交流の視点から「東北の古代史」を多角的に考え直してみたいと考えています。



大崎市宮沢遺跡を歩く
奈良平安時代の城柵「玉造塞」(たまつくりのさい)と考えられています。

【主な著書】熊谷公男編『東北の古代史3 蝦夷と城柵の時代』吉川弘文館、2015年(共著)

佐藤信編『古代史講義-戦乱編』筑摩書房、2019年(共著)

◆仙台市文化財保護審議会委員／岩沼市原遺跡指導検討委員会委員／北上市史編さん古代中世史部会

井伏鱒二が見た「解放」でも「搾取」でもない「大東亜共栄圏」の姿とは?

日本近代史 河西 晃祐 教授



『黒い雨』で知られる井伏鱒二は、1942年に大東亜共栄圏下のマレー・シンガポールに派遣されていました。井伏はそこでマレー人の同僚と共に新聞を発行し、休日には骨董品屋巡りを満喫していました。「彼等は日本人に阿諛追従するとき様子もなく、通りすがりに『やあ、こんにちは』と呼びかけると『ヤア、コンニチハ』と返答する。何しろ、あっさりしてゐて気持ちがいいのである。」と、日本人に媚びへつらうことのないマレー人記者の姿を「気持ちがいい」と記した井伏は、「解放」でも「搾取」でもない大東亜共栄圏の一側面を伝えてくれています。



【主な著書】『大東亜共栄圏-帝国日本の南方体験』(講談社選書メチエ631)講談社、2016年

『帝国日本の拡張と崩壊-「大東亜共栄圏」への歴史的展開』法政大学出版局、2012年

◆東北史学会評議員／岩沼市史編さん委員／宮城歴史資料保全ネットワーク理事

井伏鱒二が寄稿した『陸軍報道班員手記(マレー電撃戦)』

ジェンダーで江戸時代を読み解く

日本近世史 菊池 慶子 教授



江戸時代の將軍や大名は性差でみれば男性で占められたポストです。女性は武家に生まれても政治を担うポストに就くことはありませんでしたが、当主の正妻となり、また奥女中となった女性たちの果たしていた役割は、当家の政治と無関係ではありませんでした。一方、大名や家臣は妻や親の病気に際して、退勤し、付き添う姿がみられます。武士には家族を看病・介護するための休暇を認める制度があったからです。男女の性差に着目して歴史を見渡すことで、思いがけない時代の実相に出会うことができそうです。



一関藩田村家宣寿院の六十賀を祝う(一関市博物館所蔵)

【主な著書】『「杜の都・仙台」の原風景』大崎八幡宮、2008年／『江戸時代の老いと看取り』山川出版社、2011年(柳谷慶子)

『自然と歴史を活かした震災復興』東京大学出版会、2021年(共編著)

◆比較家族史学会理事／宮城県文化財保護審議会委員／秋田県文化財保護審議会委員



アジア史

日清戦争で日本が戦った相手はだれだったのか？



1894年、日本は“眠れる獅子”と呼ばれていた清との戦争に勝利します。では、日本が戦ったこの相手、果たして「中国」だったのでしょうか？実は清の皇帝は満洲人。ふだん我々が「中国人」と呼ぶ漢人（漢族）とは異なる民族です。しかも、この満洲人皇帝の臣下には、モンゴル人、チベット人、さらには中央アジアに住むトルコ系のイスラーム教徒など様々な人々がいました。見方を変えて、アジアの歴史の奥深さを学んでみませんか？

内陸アジア近世・近代史 小沼 孝博 教授



五言語で記された清朝皇帝の離宮「避暑山莊」の正門扁額(中国承德)

【主な著書】小沼孝博『清と中央アジア草原—遊牧民の世界から帝国の辺境へ—』東京大学出版会、2014年
野田仁・小松久男編『近代中央ユーラシアの眺望』山川出版社、2019年(共著)
◆日本中央アジア学会編集委員・理事／内陸アジア史学会編集委員・理事／(財)東洋文庫客員研究員



文明の交差点から世界史を学ぶ

東南アジア史 多賀 良寛 講師



東南アジアは、現在日本ともっとも密接な関係を持つ地域の一つです。歴史的にみると、東南アジアは様々なヒト・モノ・情報が行きかう「文明の交差点」として、世界史に独特の地位を占めてきました。例えば私の専門であるベトナムでは、中華文明の強い影響を受けた社会が19世紀まで続いたのち、フランスによる植民地支配とそこからの独立をへて、現在では世界でも数少ない社会主義国となっています。複雑ですが魅力に満ちた東南アジア史の世界を、ともに学びましょう！

19世紀末、フランスによる植民地支配が進みつつあった北部ベトナムで用いられていた行政文書(フランス国立海外領公文書館所蔵)。漢文で書かれた文書(左)に、アルファベット表記のベトナム語とフランス語の翻訳(右)が添付されており、当時のベトナム社会における複雑な言語状況が伺いしれます。



【主な著書】豊岡康史・大橋厚子編『銀の流通と中国・東南アジア』山川出版社、2019年(共著)
多賀良寛「財政史よりみた19世紀後半における阮朝統治の再検討」『東洋史研究』79(1)、2020年

『三国志』の英雄 今いずこに眠る？

中国中世史 下倉 渉 教授



2009年も押し迫った頃、「曹操の墓発見！」というニュースが大々的に報じられました。この写真は、2014年夏にその発掘現場を訪れた際撮ったものです。ここが曹操の墓であると断定されたのは、墓中から「魏武王(曹操のことを指す)の常用品」と彫り込まれた石枕などが見つかったからです。しかしこうした「証拠」は全て墓荒らしが盗み出した盗掘品で、本物であるかは疑わしいところがあります。しかも、「墓の主の日用品」と明記された埋葬物が墓中より出土した事例は、これまで殆ど確認されることがありません。とにかく怪しいのですが、中国政府は既にこの墓を曹操墓と認定してしまいました。

中国は今「発掘ラッシュ」です。今後、三国時代の英雄の墓が他にも見つかるかもしれません。それが本物であるか否か、鑑定する目を一緒に養いませんか？



曹操の墓とされる西高穴村2号墓の発掘現場

【主な著書】小浜正子・下倉渉ほか編『中国ジェンダー史研究入門』、京都大学学術出版会、2018年
◆中国文史哲研究会編集顧問



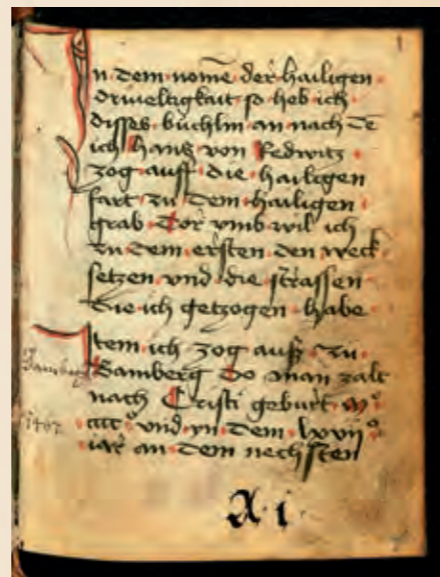
ヨーロッパ史

ヨーロッパ対イスラーム?

ヨーロッパ中世史 櫻井 康人 教授



世界史の教科書では、「十字軍運動=ヨーロッパ対イスラーム」という図式が前提とされがちです。しかし、エルサレム周辺域が完全にイスラーム勢力下に収まって以降も、ヨーロッパ人たちは聖地巡礼を行ない、その内の幾人かは聖地巡礼記という形で「他者」の世界における経験を綴っています。その分析を行なってみると、Pax Islamicaの下で安全な聖地巡礼を行えた者たちは、ムスリムに対して好意的な見方をしていることが解ります。



アウクスブルクの騎士マルティン・ケッツェルの聖地巡礼記(1476年)

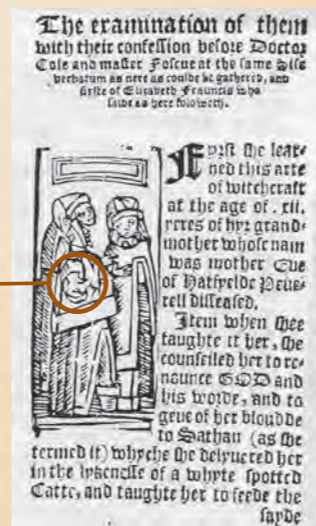
【主な著書】『図説 十字軍(ふくろうの本/ヨーロッパの歴史)』河出書房新社、2019年
『十字軍国家の研究—エルサレム王国の構造—』名古屋大学出版会、2020年
◆東北史学会評議員/西洋中世学会常任委員/西洋史研究会評議員

魔女、猫を飼う!?

ヨーロッパ近世史 楠 義彦 教授



ヨーロッパ近世では多くの年老いた女性が魔女として迫害されました。エリザベス・フランシスという女性は、白い斑の猫を12歳の時におばあちゃんからもらいました。サタンと呼び、彼女の血とパンで育てること、かごに入れて飼うこと、そうすれば望みを何でも適えてもらえることを教わりました。エリザベスは羊をはじめ、結婚相手などを次々と手に入れていきます。凄惨な魔女狩りの背後に老女と猫との暮らしが浮かんできます。



エリザベス・フランシス事件を伝えるパンフレット(1566年)

【主な著書】高田実・鶴島博和編著『歴史の誕生とアイデンティティ』日本経済評論社、2005年(共著)
阪本浩・鶴島博和・小野善彦共編『ソシアビリティの歴史的諸相—古典古代と前近代ヨーロッパ—』南窓社、2008年(共著)
◆東北史学会評議員



戦争はなぜ起きたのか?

ヨーロッパ近現代史 杵淵 文夫 准教授



中学や高校の授業の中で、第一次世界大戦で3500万人以上の死傷者が出たことは習ったと思います。では、この戦争はなぜ起きたのでしょうか?当時のヨーロッパはそんな悲惨な大戦争をイメージしづらい情勢にありました。確かに1914年6月のオーストリア=ハンガリー皇位継承者殺害事件がきっかけになりましたが、すぐに開戦したわけでもないのです。大戦争になるわけがないという油断、意志疎通の食い違いや偶然が重なって、いつしか戦争を回避できなくなっていきます。現代日本も戦争から遠ざかって久しいですが、そんな時代だからこそよく知っておきたい事例です。



暗殺事件直前、車に乗り込むフランツ・フェルディナント大公夫妻

【主な著書】小原豊志編『西洋近代における分権的統合—その歴史的課題—』東北大学出版会、2013年(共著)
◆東北史学会評議員/西洋史研究会評議員

グローバル・ヒストリーの視点から見る「長い19世紀」から「短い20世紀」の諸相

ヨーロッパ・アメリカ近現代史 渡辺 昭一 教授



18世紀の産業革命以来ヨーロッパ近代社会をリードしてきたイギリスは、帝国という支配システムによって今日の社会の基礎を築いてきました。しかし、その「帝国の遺産」も第一次世界大戦と第二次世界大戦という二つの世界大戦によって次第にアメリカへと覇権(ヘゲモニー)を譲り渡していきます。そこには、一国史と連携した国際社会の歴史の変遷をたどる国際関係史の面白さが詰まっています。

戦後、再編されるヨーロッパ諸国や台頭するアジア諸国(特に日本)を背景に、斜陽とはいえなお存在感を増すイギリスのプレゼンス、世界をリードするに至ったアメリカの体制など、国際社会の歴史的諸相を探っています。イギリス帝国が支配した「長い19世紀」からアメリカがリードした「短い20世紀」へと変容する過程をグローバル・ヒストリーの視点から考えます。

【主な著書】渡辺昭一編『帝国の終焉とアメリカ—アジア国際秩序の再編—』山川出版社、2006年
渡辺昭一編『ヨーロッパ・グローバル化の歴史的諸相』勉誠出版、2013年
◆東北史学会評議員/社会経済史学会評議員



マンハッタン島のビル街(上)と
ウェストミンスター国会議事堂(下)



考古学

東北の古墳から古代大和を考える

日本考古学 辻 秀人 教授



東北地方には全長100mを超える前方後円墳5基を含めて数千基にのぼる古墳が築かれています。東北の古墳は様々な姿をしています。古墳の発掘調査を進めていくことで東北地方の古墳時代の姿がだんだん分かってきました。明らかにされた古墳の姿から東北地方の人々がどのように大和との関係を結んでいたのか、ひいては大和王権の実像を考えたいと思っています。



灰塚山古墳埋葬部の調査

【主な著書】シンポジウム日本の考古学4 『古墳時代の考古学』学生社、1998年
シリーズ遺跡を学ぶ29 『東北古墳研究の原点 会津大塚山古墳』新泉社、2006年
辻秀人編 『博物館危機の時代』雄山閣、2012年

◆日本考古学協会会長／福島県文化財保護審議委員／東北関東前方後円墳研究会代表幹事／仙台市市民文化事業団評議員

われわれは北京原人の子孫ではない!?

先史考古学・アジア考古学 佐川 正敏 教授



アフリカで250万年前頃に原人が誕生し、その後アジアとヨーロッパへ広がりました。その一部が北京原人です。教科書では、原人が旧人を経て新人に進化したと記述されていますが、それは旧大陸各地でそれぞれ発生したのでしょうか。人類学、考古学、遺伝子学の最新の研究では、新人は20万年前頃にアフリカだけで進化・誕生し、その後アジアとヨーロッパへ広がり、2~3万年前まで各地で旧人と共存し、交代したことがわかってきました。



頭骨と下顎骨に原・旧人の特徴をもつ涿水人は中国に3万年前まで生存

【主な著書】佐川正敏編『北方ユーラシアの中期旧石器を考える 石器からみた現生人類の起源』1999年
白石太郎編 『日本の時代史1 倭国誕生』吉川弘文館、2002年(共著)
熊谷公男編『城柵と蝦夷の時代』吉川弘文館、2015年(共著)

◆中国社会科学院中国古代文明研究中心客員研究員／仙台市博物館協議会会長／「平泉の文化遺産」世界遺産登録検討委員会



民俗学

民俗イメージの当り前を問い直す

民俗学 政岡 伸洋 教授



民俗といえば、祭りや民俗芸能など、昔から変わりなく受け継がれてきたようなイメージがあるのではないのでしょうか？しかし、詳細に見ていくと、必ずしもそうとは言えないことに気づかされます。変わらないように見えて、実は各時代の政治的・社会的・経済的状況の影響を強く受け、大きく変化している。このような視点から、全国の事例を対象に民俗学の当り前を問い直すことで、新たな民俗理解の可能性を考えています。



観光への活用も現代民俗の特徴の一つ

【主な著書】八木透・政岡伸洋『図解雑学こんなに面白い民俗学』ナツメ社、2004年(共編著)
政岡伸洋『仙台の祭りを考えるための視点と方法』大崎八幡宮、2010年

◆国立歴史民俗博物館共同研究員／国立民族学博物館共同研究員／東北歴史博物館協議会資料収集専門部会委員

むらの豊かさを考える

民俗学 金子 祥之 准教授



過疎化・高齢化が進むいま、「むら」には否定的なまなざしが向けられています。「限界集落」として広く知られているように、残念ながら今後、消滅していく集落も出てくることでしょう。しかし、ここで問い直す必要があることがあります。じつは「限界集落」で集落調査を行なうと、「住み心地が良い」あるいは、「この場所を離れたくない」という回答が多数を占めます。それは、なぜでしょうか。被災地や過疎地域の調査を通じてむらの歴史や文化にふれながら、むらの豊かさとは何かをあらためて問い直していきます。



マツタケ採りの民俗知を調査。セツを追って生きる知恵を明らかにする。

【主な著書】『変貌する祭りと担いのしくみ』学文社、2021年(共著)
『民俗学の思考法—くいま・ここ—の日常と文化を捉える』慶應義塾大学出版会、2021年(共著)

◆日本村落研究会理事／環境社会学会理事／現代民俗学会運営委員・編集委員

歴史学科の 学びのみちすじ

歴史学科では、共通科目と専門科目(専門教育科目)を学びます。共通科目はおもに1・2年次で、学びの基礎力を養う、教養教育科目(34単位)・地域教育科目(2単位)・外国語科目(6単位)が該当します。歴史学科独自の専門科目(56単位以上)は、①講義・②実習・講読・③演習の3つの柱があります。基礎力を身につけたうえで、専門性を発揮できるカリキュラムが組まれています。



専門教育科目 ※カッコ内は卒業に必要な最低修得単位数					
	1年次	2年次	3年次		4年次
講義 (32単位)	概説 日本史概説I・II アジア史概説I・II ヨーロッパ史概説I・II 考古学概説I・II 民俗学概説I・II	テーマ史 歴史の中の東北 江戸から明治へ イスラム世界の形成と展開 伝統アジアの社会と文化 ヨーロッパ近現代の社会と国家	テーマ史 近現代日本と東アジア アジアにおける国家の誕生 アジアの王権と思想 ヨーロッパ中近世社会史	諸問題 日本史の諸問題I・II アジア史の諸問題I・II ヨーロッパ史の諸問題I・II 考古学の諸問題I・II 民俗学の諸問題I・II	
実習・講読 (6単位)		古文書学I・II アジア史基礎講読I・II ヨーロッパ史基礎講読I・II ギリシア語初級I・II 考古学実習I 民俗学調査入門I・II	日本史専門講読I・II アジア史専門講読I・II ヨーロッパ史専門講読I・II 考古学実習II・III 民俗学実習I・II	ラテン語初級I・II ギリシア語中級I・II	日本史専門講読III アジア史専門講読III ヨーロッパ史専門講読III ラテン語中級I・II
演習 (12単位)	入門演習I・II	基礎演習I・II (日本史) " (アジア史) " (ヨーロッパ史) " (考古学) " (民俗学)	日本史総合演習I・II アジア史総合演習I・II ヨーロッパ史総合演習I・II	考古学総合演習I・II 民俗学総合演習I・II	日本史論文演習I・II アジア史論文演習I・II ヨーロッパ史論文演習I・II 考古学論文演習I・II 民俗学論文演習I・II
隣接科目 (4単位)		地誌学I・II 日本文学史I・II	自然地理学I・II 人文地理学I・II 日本美術史 ヨーロッパ美術史	生活文化史I・II 日本経済史I・II 西洋経済史I・II 日本思想史I・II	
教養教育科目・地域教育科目・外国語科目					
教養教育科目(34単位) 地域教育科目(2単位)					
外国語科目(6単位)					

※2023年度にカリキュラムを一部変更予定

専門教育科目

① 講義 32単位以上

講義を通じて、さまざまな歴史研究の分野にふれることができます。1年次の「概説」は各分野の基礎を、2・3年次の「テーマ史」や「諸問題」では最前線の研究成果を学びます。みなさんの興味・関心を深める重要な機会です。

② 実習・講読 6単位以上

各分野の研究手法に、みなさんが挑戦します。考古学・民俗学の「実習」では遺跡の発掘や現地でも聞き書きを、日本史・アジア史・西洋史の「講読」「古文書学」では歴史資料を読み込みます。アジア史・ヨーロッパ史には、外国語を学ぶ科目も開設されています。

③ 演習 12単位

学びたい分野を選択し、担当教員のゼミに所属します。一人ひとり、自分の研究テーマに取り組み、仲間や教員たちと議論し、研究を深めていきます。3年次の「総合演習」、4年次の「論文演習」を通じ、卒業論文を作成します。ゼミの学びは、野外調査・研修旅行など、仲間や地域とつながる機会です。[フィールドとつながる(p.3-6)]

卒業

124単位以上を修得すると、晴れて卒業となります!

専修制

とくに特定分野を集中的に学ぶ(各分野の定める科目を16単位以上)と、卒業時に「専修」が認定されます。

- 日本史専修
- ヨーロッパ史専修
- アジア史専修
- 考古学専修
- 民俗学専修

教養教育科目・地域教育科目・外国語科目 資格科目